

浦添市軍用地跡地利用計画審議委員会

第20回（令和5年度第2回）

令和6年2月19日（月）

場所：浦添市役所 庁議室

1. これまでの取り組み状況

	令和4年度												令和5年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
審議委員会			● 第1回 9月27日								● 第2回 3月28日								● 第3回 11月7日			● 第4回 2月19日		● 第5回 3月(予定)
推進委員会			● 第1回 7月21日								● 第2回 2月28日								◇計画書の素案について ✓分野別の方針について ✓パブリックコメント結果について			● 第2回 2月8日		
作業検討部会			● 第1回 7月12日								● 第2回 2月28日								◇計画書の最終案について ✓計画書の記載内容について			● 第3回 1月23日		
地元説明会	◇計画の概要、地区状況について ✓跡地利用計画の策定体制について ✓地理的条件等・現況について					◇計画内容の骨子について ✓地区の現況と課題について ✓コンセプトについて ✓土地利用について					8月7～19日			8月7日～9月22日										
パブリックコメント																								

跡地利用計画
素案

本日

牧港補給地区の主な特徴

- ✓ 那覇空港や那覇港に近く、国道58号や西海岸道路沿い
- ✓ 人口20億人超の東アジアの中心（4,000km圏）
- ✓ 沖縄の経済・生活の中心地である市街地に囲まれている
- ✓ 西海岸開発による交流・にぎわい空間と物流空間の創出
- ✓ リゾート地沖縄の西海岸の海に面し、美しい夕日を望む
- ✓ 高台部と低地部をもつ特徴的な地形
- ✓ 0からインフラ整備ができる国内最大級の開発地

昨今のまちづくりで重視されていること

- ✓ 二酸化炭素を出さないまちづくり
- ✓ 環境問題・気候変動への意識の高まり
- ✓ 自動運転等の新たな技術をまちなかで実証することの重要性
- ✓ 最先端の通信技術の導入
- ✓ 持続可能な開発のための17の目標（SDGs）
- ✓ 歩いて暮らせるまちづくり、ひと中心のまちづくりの推進
- ✓ 健康意識の高まり、高齢社会への対応

まちづくりの理念

本市は、「てだこの都市（まち）・浦添」を都市像としています。これは、かつて天然の良港を活かして海外貿易をいち早く始め繁栄に導いた英祖王の神号「英祖日子（えそのてだこ）」にちなんだものです。豊かな自然と歴史・文化を背景に、かつて琉球王統発祥の地として、おおらかであたたかい市民の心や創造的な市民文化を育み、参画と協働によるまちづくりを基本に市民が主役となり、にぎわいと活力にあふれたまちの創出を目指しています。

そこで、牧港補給地区跡地のまちづくりを進める上での根底となる基本的な考え方をまちづくりの理念として次の通り定めます。これは、今後長期にわたり本地区のまちづくりの検討がより具体化していく中で、刻一刻と変わりゆく時代の潮流に左右されない揺るぎないものとして設定します。



- 1 浦添の歴史・文化・自然を尊重し、浦添だからこそできる特色あるまちづくり**
- 2 住み・訪れ・暮らすあらゆる人々の幸せを考えた環境づくり**
- 3 まちに関わる一人一人が、自らまちをつくり育てる自治のまちづくり**

牧港補給地区の特徴を最大限に発揮し、世界に誇る都市を目指すためには、

『最先端の技術を集約し
新しい産業を生み出す』

イノベーション拠点の形成

『持続的にまちづくりを推進する
ために環境を重視する』

環境先端都市の形成

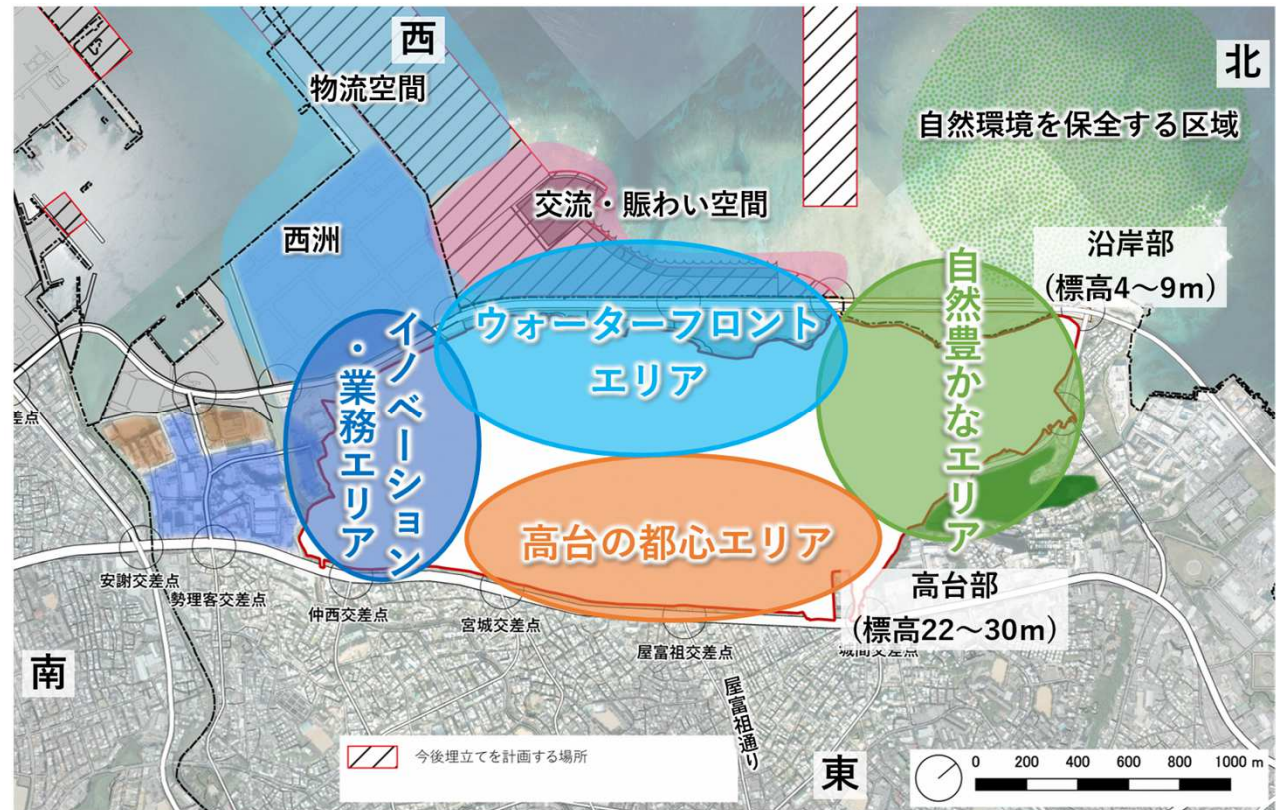




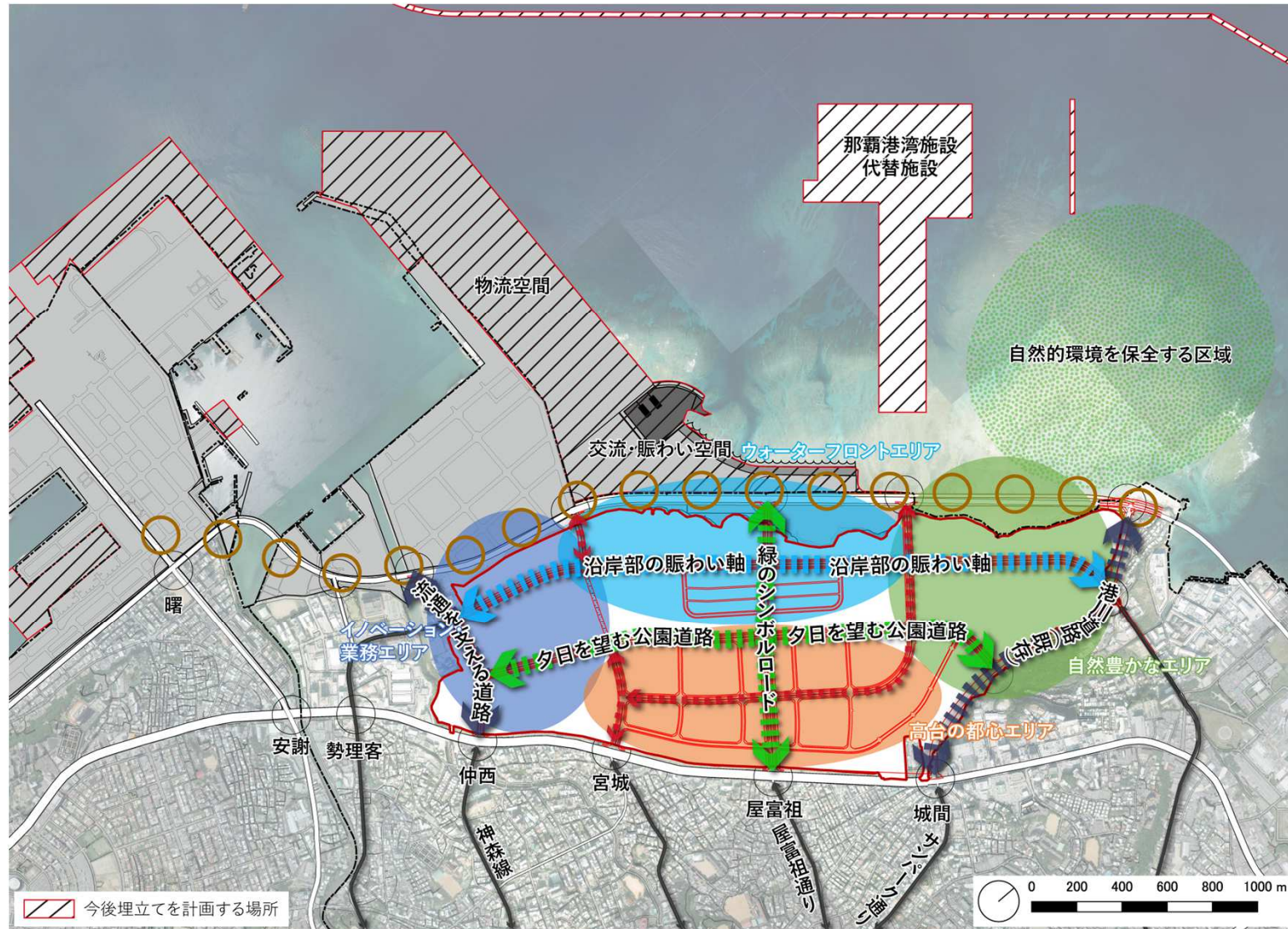
2. 計画書の内容：4つのエリア

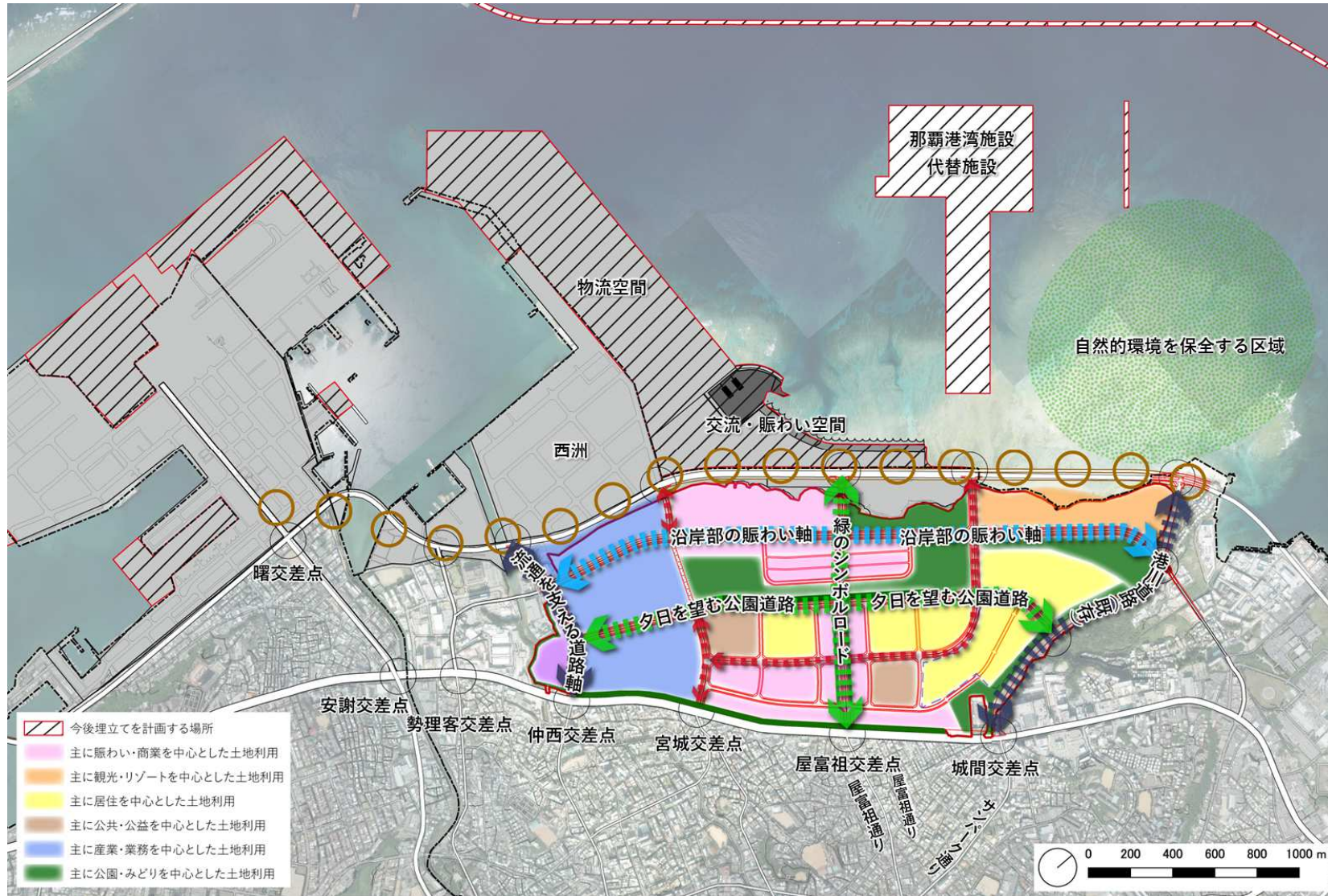
周辺エリアや高低差等の地区の特徴に応じて4つのエリアを設定

- ① 地区の南側は、西洲や西海岸開発、産業振興センター等の産業エリアに囲まれており、周辺と連携した「**イノベーション・業務エリア**」
- ② 地区の西側は、海に近い低地部で、西海岸開発の交流・賑わい空間と一体的な「**ウォーターフロントエリア**」
- ③ 地区の東側は、高台となっており国道沿道で既存の市街地と連続する「**高台の都心エリア**」
- ④ 地区の北側は、隣接する緑地や自然環境を保全する区域となっている海に囲まれた「**自然豊かなエリア**」



2. 計画書の内容：道路ネットワーク図





○産業の創出・振興の整備方針

- 沖縄の経済を牽引する新たな産業の創出
- 自然環境の尊重
- 災害に強靱な創業環境の形成
- 沖縄のリゾート観光を振興し、国内外から多くの人
が訪れる賑わいづくり

○通信体系の整備方針

- データ通信とデジタル化が研究や開発等の企業活動を加速させるまち
- 未来の暮らしを支える快適かつ安全な通信環境の整ったまち
- 仮想空間（バーチャル）も活用して都市活動を展開するまち

○生活環境の整備方針

- 訪れる人・暮らす人が健康に生き生き過ごせるまち
- 安全かつ安心して暮らせるまち
- 多様な文化・言語に対応した国際都市

○良好な景観形成の整備方針

- 沖縄の気候・風土（蒸暑）に適した伝統的な建築形態や浦添の歴史の尊重
- 美しい眺望を最大限活かしたまち並み景観

○自然環境の保全・回復の整備方針

- 効率的にエネルギーを使うまち
- エコなエネルギーを使うまち
- CO₂を吸収する自然豊かなまち

○公共空間の整備・活用方針

- 大規模な公園・緑地
- 道路沿道の公園
- 身近で小規模な公園（街区公園等）